

## 「神戸ヒヨコ登山会 平成 29 年度定時総会」の ごあいさつ

会 長 吉野 宏

会員の皆様、お早うございます。

「平成 29 年度定時総会」によるこそお越し下さいました。146 名もの多数の会員様にご出席を頂いていると報告を受けております。誠に有難うございます。

先生方には、各議会共に年度末の大変お忙しい中にも拘りませず、ご臨席を賜りまして誠に有難うございます。心より御礼を申し上げます。

又、平素は各支部・各山筋に於いても、なにかとご相談にお耳を傾けて頂いておりますこと、心より感謝をいたしております。壇上から失礼ではございますが、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。ほんとうに有難うございます。

さて 私達の会「神戸ヒヨコ登山会」は、皆様のご努力・ご協力のおかげをもちまして、本年創立 95 周年を迎えました。大正 11 年 10 月 5 日、「黎明(れいめい)に新鮮な空気を吸い、徒歩運動を行うことは如何に健康に良いか」ということを悟った、僅か 10 名の先人たちが立ちあげた私たちの会は、大正・昭和そして平成と移り変わる中、幾多の困難をも乗り越えながらその歴史を刻み、現在まで力強く歩んでまいっております。

ヒヨコのこの輝かしい歴史は、その時代時代の会員各位が切磋琢磨された「毎日登山の実践」と、「それを活かすヒヨコ行事への参加」から生まれた「会員相互の固い絆と思いやり」が継続・継承されて来たお陰であると確信致します。同時に、登山会の運営に関してこられた役員各位のご努力の積み重ねが、歴史を継承して行くことが出来た所以(ゆえん)でもございます。

平成 24 年 10 月に創立 90 周年の記念式典を盛大に行って早や 5 年。「光陰矢のごとし」とは申しますが、月日の経つのは本当に早いものだとつくづく感じる次第でございます。あの式典の後、生まれたスローガン「めざせ 100 年・元気なヒヨコ！」は、皆様方の努力と協力により着実に歩を進め、3 年後行われる東京オリンピックの熱が冷めやらぬ 2 年のちには「神戸ヒヨコ登山会 創立満 100 年・満 100 歳」という輝かしい歴史の現実が訪れるのです。

私達役員は 90 周年式典後、この創立 100 年を見据えながら「伝統ある神戸ヒヨコ登山会を元気で健全な状態で次の世代へ引き継いでいくためには？」という大きなテーマにいろいろな角度から真摯(しんし)に取り組んで来ました。新しい会員増や会員の若返りなど、試行錯誤を繰り返しながらも少しずつではありますが前へ進んでおります。「会員による積極的な声かけ」により、新しい仲間が増え、インターネット

の「ヒヨコのホームページ」の効果などもプラスとなり、「元気なヒヨコ！」はその羽ばたきで未来を開いてくれると信じています。

本日ご参集頂いておりますお一人お一人が、今一度「10年後を目指したヒヨコ作り」の意義を今一度思い起こして頂き、「積極的な声かけ」を実践して頂くとともに、問題点の提案や改革案を出して頂くことが未来のヒヨコ創りにとって非常に大切なのです。

S・ウルマンの「青春の詩」の中に、『希望有る限り若く、失望と共に老い朽ちる』という一節が有ります。高齢になったから老いたのではなく、信念と自信を失うから老いるのだ！・・・ということでしょう！

どうか皆様、更なるご努力・ご協力を切にお願い申し上げまして平成 29 年度総会のご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願い致します。

平成 29 年 3 月 5 日

追記

お渡し致しました 4 月～6 月をご覧いただいてもわかります様に、創立 95 周年記念行事を多く計画予定致しております。ご参加頂きお楽しみ下さいませ。

(但し、バスハイクなどで人数に制限ある場合は規制する場合があります。)

## 「神戸ヒヨコ登山会平成 28 年度定時総会」のごあいさつ

会 長 吉野 宏

会員の皆様、改めましてお早うございます。

「平成 28 年度 定時総会」によろこお越し下さいました。有難うございます。

先生方には、年度末の大変お忙しい中にも拘りませず、ご臨席を賜りまして誠に有難うございます。又、平素は各山筋におかれましても、いろいろな御相談にお耳を傾けて頂いておりますこと、心より感謝をいたしております。壇上からではございますが、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

ほんとうに有難うございます。

さて 私達の会は皆様のご努力ご協力のおかげをもちまして、本年創立 94 年目を迎えました。平成 24 年の 10 月に 90 周年の記念式典を盛大に行って早や 4 年。「光陰矢のごとし」と申しますが、月日の経つのは本当に早いものだとつくづく感じる次第でございます。

あの式典の後、誰からともなく「次は 100 年やな〜！」とか「10 年言うたらだいぶ先やな〜！」とか、「そんなもん、わしゃ 10 年も持たんで〜！」とか、あげくの果てには「ヒヨコの会あるやろか？」・ ・ などなど、いろんな思いをつぶやかれたことを思い起こします。そして、そんな中で生まれたスローガン「めざせ 100 年・元氣なヒヨコ！」が、皆様方の努力と協力により一歩一歩現実として 100 年に近づいて来ているのも事実でございます。

私達役員はこの 3 年 4 カ月の間、「伝統ある神戸ヒヨコ登山会を元気で健全な状態で次の世代へ引き継いでいくためには？」というテーマに、いろいろな角度から真摯(しんし)に取り組んでまいりました。月 1 回行っております役員会では、問題を提起し、検討を重ね、試行錯誤を繰り返しながらも少しずつではありますが、前へ進んでまいりました。

インターネットによるホームページの立ち上げにより、年間 50 回以上にも及ぶ例会行事の公開や事後報告などを発信し、より多くの方々にヒヨコの活動をアピールするなど、攻めの姿勢の一方で、常に「経費の見直しや削減」を諮(はか)ってまいりまし

た。「表彰品等の見直し」や、時代に沿った「会報のリニューアル化」など、古くから手を入れていなかった所にも手を入れ、改革改善を行いました。（新年号での名刺広告ではA版へ移行した校正面での不慣れで、脱字などが発生し多大の御迷惑をおかけいたしましたこと改めてお詫びを申し上げます次第です）。

そして昨年スタートさせた次代を担う会員の活動サークル「羽ばたけ！ヒヨコ」の立ち上げなど、「めざせ 100 年！元気なヒヨコ創り」に多大の努力を致してまいりました。

しかしながら、掲げたテーマはそんなに甘く簡単なことではありません！ましてや、我々役員だけの力で成し得ることのできるものではありません！

会員お一人お一人が、今一度「10 年後を目指したヒヨコ作り」の意義を思い起こし、問題点の提案や改革案を積極的に出して頂くことが非常に大切です。

歯止めの利かない少子高齢化は、神戸にある多くの登山会にも深刻な悩みを投げかけております。式次第と一緒にお渡ししています「ヒヨコ登山会の会員構成表」なるものは、後ほどゆっくりとご覧いただくとしまして、しかしながら、私はそれほど深刻に心配は致して居りません。

なぜなら 1 つには、ヒヨコ登山会は 69 歳以下の会員構成が神戸にある毎日登山会 20 団体の平均 24%より 11%も多い 35%あるという事実です。

2 つには、私達の会は他のどの登山会にも負けない素晴らしい伝統を持ち合わせているという事実です。それは、会員一人一人の絆が支部の結束を育み、そしてその支部間の絆が会を発展させてきたという歴史的事実を継承していることにほかなりません。

どうか皆様、以上を充分ご理解頂き、6 年後の 100 年を目指して更なるご努力、ご協力を切にお願い申し上げ 28 年度総会のご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願い致します。

平成 28 年 3 月 6 日

